

140年の歴史に幕 ありがとう滝沢小学校

2月20日、滝沢小学校の閉校記念式が執り行われました。

滝沢小学校は明治15年の開校から、約三千三百名の卒業生を世に送り出し、令和4年3月で140年の長い歴史に幕を下ろします。

式典はコロナ禍により、規模を縮小し開催され、在校生や卒業生、関係者など48名が出席し、故郷の学び舎に別れを告げました。

長い間、地域の初等教育を担ってきた同校は、閉校という一つの節目を迎えますが、在校生の4名は滝沢小学校で学んだことを支えに、新たな学び舎で、新たな仲間とともに春を迎えます。



鬼は外！福は内！ 上ノ国保育所で豆まき

2月3日、上ノ国保育所では、毎年恒例となっている、節分の豆まきが行われました。

各組ごとに鬼を模したお面や帽子を上手に作っており、年長さんのとら組では粘土を型にした張り子のお面を作りました。

園児たちが先生方から節分や豆まきの意義を教わり、豆まきを始めると、2体の鬼が現れ園児たちを驚かせていました。

泣き出す子もいましたが、園児たちはいい子でいることを鬼と約束をし、心の中の悪い鬼を退治することができたようです。

大留地区複合施設が完成 町内会へ施設説明会を開催

大留地区複合施設が1月25日に完成し、1月31日に大留町内会（明上廣男会長）を対象とした、集会所エリアの説明会が開催されました。

同施設は、集会施設のほか、ギャラリーや遊具エリアを備えた多目的のスペース、商工会事務所などで構成されており、説明会には明上会長のほか、町内会役員7人が参加し、設備の使用方法について説明を受けていました。

明上会長は「倉庫は以前より広く、防災用品も多く入る、災害時などにも有効活用していきたい」と話していました。



災害時の心構え 新村町内会で災害図上訓練

2月13日、新村町内会（川島忠治会長）で、水害に備えた災害図上訓練が実施され、14名の町内会員が参加しました。

災害図上訓練とは、住んでいる地区の地図を使って、消防職員から伝えられる災害発生状況に対する危険箇所、取るべき行動について、参加者が議論し、災害時に備える訓練です。

参加者は「住んでいる地区の危険箇所や、近所で避難が必要な方に対する支援など、普段あまり意識していなかったことを確認できた」と話していました。

